

8月9日(金)子育て講話「愛されることと待つこと」

講師：佐賀女子短期大学
教授 井手 一雄先生

自分のお子さんを膝の上に抱っこしながらお話を聞きました。講話の中で、「子どもへの関わり方や子どもの育ちには、“人”として“愛されること”“ほめられること”“役に立つこと”“必要とされること”が大切であること。また、“愛する”とは相手の存在を認

めること、“待つ”とは全力を尽くして何もしないこと。」が心に残りました。最後に、まあせんせい(菊地政隆先生)の歌「こころの花」を参加者みんなで手話をしながら歌いました。ほのぼのとそして元気が出るお話でした。

♪心の花「あなたの心にさく花は きっとやさしい花だろう だれにもまけないやさしい心 それはたくさんの人をやさしくする…」♪♪

